



堂崎つ子の心を見つめる教育週間(校長講話)より 6月23日(月)

< 6月17日(火)の講話①から >

1. 顔・表情と気持ち

皆さんは自分の顔を鏡で見ますか。(どんな表情?つまり、どんな気持ち?) 楽しい、うれしい。それとは逆に、悲しい、つまらない、悔しい……。私たち人間には、いろんな感情があり、その感情は顔に表れる。だから、人の話、会話するときは相手の目や顔、つまり表情を見る。



2 みんなちがって、みんないい

誰でも、得意なこと、苦手なこと、性格・人柄も様々。(友達に優しく接することができる人、怒りっぽい人。身の回りのことがしっかりとできる人、友達のことには注意が行く人。ものごとに慎重な人、友達のことをいつも心配して声をかける人……)

学級では、友達と言葉を交わす、勉強で相談する、一緒に遊ぶなどしている。しかし、何かをきっかけに(きっかけとは、悪口や相手を馬鹿にした言葉、乱暴な言葉づかい等、それぞれによって違ってくるが)、話をしづらくなったことはなかったか? 寂しい思い、つらい思いが続くと、安心して学習できない。(いつも考えごと・心配なことが続くから。)

本来、学校は一人一人が学ぶところ。その勉強が安心してできない状況を作り出していることは、とても不幸なこと・喜べることではない。

3 いじめとは

いじめとは、心理的・物理的に攻撃することで、いじめられている子供の心や体が傷ついたり、被害を受けて苦しんだりすること。次の例は?

①遊んでいる中、特定の子だけにボールを回さない。逆に、その子ばかりに回す。

②目撃した友達から「2人からからかわれている」と話が合ったが、本人は大丈夫と言っている。

③Aさんは、Bさんの水筒を関係のないCさんのロッカーに勝手に入れた。Cさんは「やめてよ」と言った。Cさんの顔は、嫌な表情であった。悪口を言う。相手を見下した言葉遣い。物を隠す。言葉で脅す。仲間外れ。口をきかない。インターネットやラインなどで、悪口を書くことも含む。

堂崎小学校でも、言葉による暴力、悪口、相手を見下した言葉遣いを耳にした。その度、注意してきた。言葉遣いについて、みなさんは何か感じないか。慣れてしまうことほど、怖いものはない。

4 なぜ、起こるか

① 子ども同士の問題：仲間外れや悪口、無視などが典型的なトラブル。(どのような言葉かけをして友達づくりを行うか。気持ちの伝え方。謝り方等。)

② 個人の特性や性格の問題：いじる子は不安な気持ちを抱えていることが多い。過去にいじめを受けたり、悩みなどを抱えたりしている。

③ 学校の問題：自分たちと違う存在を受け入れることができない。「みんな違って、みんないい。」お互いを認め合える力が育っていない。

④ 家庭や地域環境が大きく影響している場合。：(テレビやゲーム、You-tube、言葉遣い……)

5 これから

いじめの事実が確認されたら、いじめをやめさせ、起こらないように努力しないといけない。(学校の先生がすべきこと、みなさんのお父さんやお母さんがすべきこと、皆さん自身がすべきこと) 堂崎小学校に、いじめを持ち込まないように、いじめを起こさせないように、自分自身ができることを考え、行動に移していこう。

< 6月23日(月)校長講話②より >

今日から、堂崎つ子の心を見つめる教育週間。前回の講話と少し見方を変えた大切な話をする。

□「すきな学校」 → 「て」を大きく書いて、「すてきな学校」

□「手をいれる」…「よい状態にするために、補ったり、直したりすること。」「手を加える。」

裏面へ

□開校150年を迎える堂崎小学校。「すきな堂小」をバージョンアップして、「すてきな堂小」にしていこうと思う。

皆さんは、「すてきな堂崎小」にしようと思うか？ 皆さんが、「すてきな学校」と感じるのは、どんなとき？

□登校してからの学校生活をイメージしてみよう。（子供の発言→協力する・仲良くする・好き嫌いをなく食べる・挨拶や返事）

・皆さんが季節の花を持ってきて、廊下や教室に季節の花が飾られているのを見て、きれいだなと感じる。（気付いている？）

・元気な「おはようございます」の挨拶があちらこちらから聞こえてくる。教室では、「おはよう」と挨拶して入る、迎える。

・傘がきちんと丸めて傘立てに立ててある。靴が靴箱に揃っている。トイレのスリッパが、次にはく人のために揃えられている。

・自分の荷物をロッカーに入れ、片付けている。提出すべきものを担任の先生にきちんと出している。名札を付けている。

□気付いている人もいます。3つのあ（あいさつ・ありがとう・あしまつ）が自信もってできているか、できていないかです。

□こんな学校や学級だと、人の気持ちは落ち着き、穏やかになる。

□こんな「すてきな風景をだれが創り出すのか。→堂崎小学校で生活している皆さん96人。このようなことが「手を加える」こと。

□自分から進んで考え、勉強を進んでする、学んだことを身に付ける努力をしている。そして、学級に分からないで困っている人がいると、「どうしたの？」「一緒に考えてみようか」など、「教え合い」「助け合い」ができる学級 → 学習する楽しさがアップ。

□友だちを悲しくさせる言葉、陰口など、いわゆる「ちくちく言葉」をなくし、すてきな学校を創っていくために、「手を加えて」いこう。

□相手のことを考え、寄り添い、「一緒に成長していくことを喜べる友だちがいる学級。そんな学級や学校が「すてきな学級や学校」になる。「すてきな〇〇」にするために、どんなことを実行していくか。知恵を出し合って「すてきな堂崎小学校」にしていこう。

保健委員会「歯の集会」より 6月11日(水)

保健委員会の児童による「歯の集会」が行われました。歯の健康に関するクイズが行われ、クイズを通して、歯と口の健康に関心があることを感じました。問題を紹介します。

①小学生が虫歯になりやすい歯は？（→ おく歯）

②上手な歯の磨き方は？（→ 軽い力で小刻みに磨く）

③正しい歯ブラシの持ち方は？（→ 鉛筆のように持つ）

④前歯が抜けると、ア行・カ行・サ行の中で、どの発音がしにくくなる？（→ サ行）

⑤動物の中で、歯が何度も抜け替わる生き物は？（→ サメ）

* 「歯と口の健康」に関する意識を高めることができたように思います。食後等の歯磨きをていねいに行い、むし歯予防と併せて、歯周病予防にも努めてもらいたいです。【虫歯等の治療率90%をめざしましょう！】



サツマイモの苗差し 6月12日(木)

サツマイモの苗が心配されましたが、地域の皆様のおかげで準備を進めることができました。芋差しのタイミングが難しかったのですが、梅雨空の合間をみて、玄関前に集合。2年生の元気な「始めの言葉」でスタートしました。担当の先生から、イラスト入りで説明を受けた後、いざ芋畑へ。

最近の暑さにより、いつの間にか雑草が目立つようになっており、まずは、除草作業から始めました。雑草の緑色が目立っていた畑は、96名の子供たちの丁寧な作業により、あっという間に茶色一色に。また、5・6年生が先頭に立ち、苗がはみ出ないように丁寧に作業を進めました。

すべての作業が終わり、私からは、「苗の提供、草取りや耕運作業、畝づくりなどに多くの方の協力をいただいている。作物を育てるには、水やりや草取りなど時期を逃さないタイミングが大切だ。」という内容の話をしました。晴天続きでしたが、恵みの雨も降りました。



<2年生:始めの言葉>



<まずは草取りから>



<たてわり班で芋の苗差し>